

堂谷津の里から

堂谷津の里は、1月の記録的少雨により湧水量が僅かとなり、また、2月の降雨由来の地下水も集水できず、3月初旬においても田の湛水が完了しない異常状態が続き、多くの田で田植えができない事態に陥りました。そのため、3月に募集した「親子で米づくりと自然の体験」の実施を中止することになりました。残る田んぼについては雑草の抜き取りなどで田を整え、5月27日には昨年から支援を頂いている(株)ウェザーニューズ社社員の方により、5月30日には千葉市主催の谷津田塾の参加者や一般募集の方により無事に田植えを終えることができました。昨年同様の収穫量は望めませんが、今後、稲が豊かに育つよう見守っていきたいと思います。この間、こうした渇水状況が生じた要因を地下水位調査などにより探ってきましたが、さらに、様々な角度から調査・検討する必要性を感じ、(株)ウェザーニューズ様と連携し、堂谷津の里の水循環・地下水涵養に関するプロジェクトを発足することになりました。詳しくは改めてお知らせしますが、今回は渇水対策の現況について報告します。

なお、6月20日に開催した通常総会において2025年度事業報告、決算報告が承認され、その結果に基づき、千葉市長に事業報告書等を提出しました。

【田んぼでは】



谷津田塾参加の皆さん



応募した7家族の皆さん

【活動広場では】



4月に開催した野草摘み・野草クッキング

【(株)ウェザーニューズ様の支援活動】



田植え



中耕除草



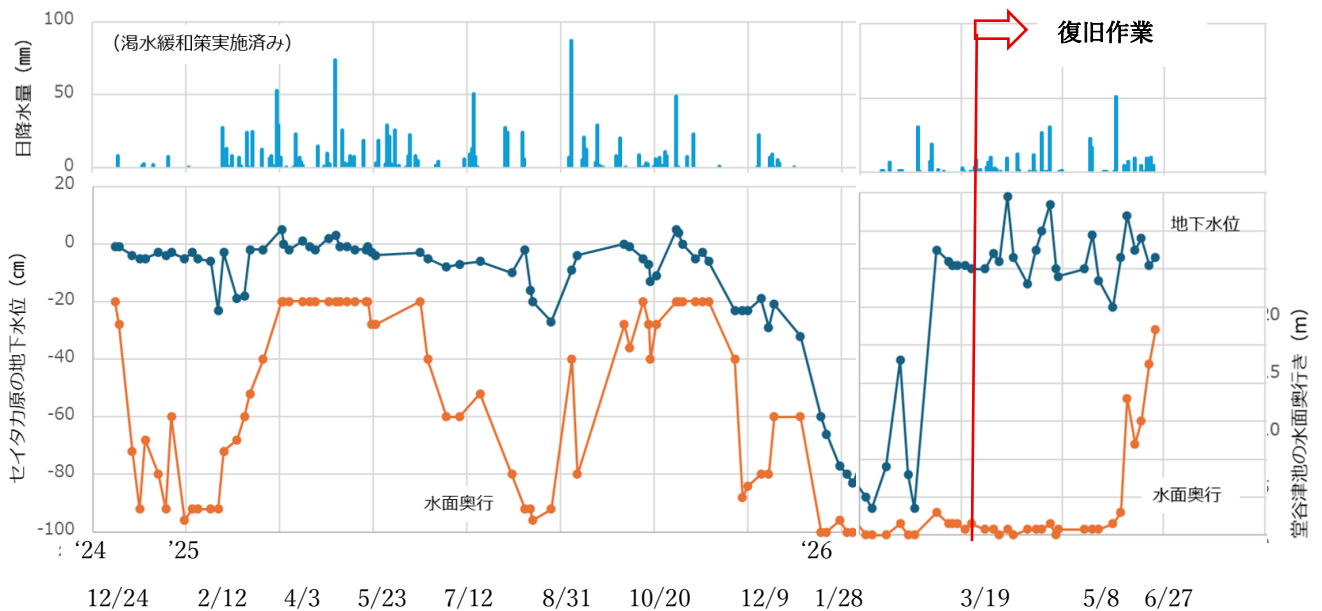
蛍の観察路の整備

渇水緩和システムの復旧に向けて

①2017年の生育期渇水、2019年の冬期湛水期渇水などの渇水被害を軽減するため、用水路の水量と降水量の関係、土水路流域の地下水位が用水路の水量に与える影響について調査し、その結果を踏まえ、一部がコンクリート製U字溝の用水路を変更し用水路全体を土水路にかえる、土水路流域の地下水位の低下を抑制する（堰の新設など）という渇水対策（渇水緩和システム）を2019年11月に講じ、良好な効果を得てきました。

②今回、この渇水緩和システムが機能不全（土水路流域の地下水位低下）に陥ったため、池奥の谷頭の湧出点から下の田の取水口にかけての用水路の流量を測定し、流量が半減していた地点について、池の堤体のブルーシートの撤去、谷頭に堆積した土砂の除去などの対策を行いました。

③最近は降雨が続いていて土水路流域における地下水位の上昇および土水路による地下水の集水が確認され、システムはおおむね復旧したものと考えられます。なお、本復旧の最終的な確認は、今後の少雨期を待って実施する予定です。また、谷頭の土水路のメンテナンスや池に流入した土砂の除去作業は継続していきます。



<情報コーナー>

総会において、長い間バランス21の活動を支えて頂きました、佐藤総子理事、栗原裕治監事が任期満了に伴い退任され、竹内奈緒子監事（再任）、菅原正己監事（新任）と理事4名が選任されました。齋藤幸一代表理事、月川憲次副代表理事、二宮豊副代表理事、深山昭彦理事の体制で、会員の皆さんと力を合わせて堂谷津の里の維持・活用に取り組んでいきますのでよろしくお願いいたします。

なお、今年のホタル観賞会は7月18日（土）を予定しており、詳しくはホームページでお知らせします。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://www.balance21-yato.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645（現地）